

《秋田県連盟の「新しい生活様式」の徹底による活動の基準（方針）》 Ver. 2

8月7日にJR東日本秋田バスケットボール部から新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。市中感染には至っていませんが、秋田県の警戒レベルは「2」（強い注意喚起）で、

- ・ 基本的な感染症対策の徹底（手洗い、うがい、マスク着用、3密回避）
- ・ 感染者が多い都道府県や地域（特に首都圏）への移動を避ける

等の呼びかけが秋田県のホームページやテレビでなされています。

《秋田県連盟の「新しい生活様式」の徹底による活動の基準（方針）》 Ver. 2をお示しいたしますので、今後も十分感染防止に配慮しながら活動を展開されますようお願いいたします。

①活動に参加するすべての人（指導者、スカウト、保護者）は、「活動参加事前チェックシート」を当該隊長に提出する。この「活動参加事前チェックシート」は活動後3週間保管してください。万が一、クラスター発生した場合の追跡記録となります。

活動当日はできるだけ参加直前に検温実施をお願いします。

以下に該当する人は活動に参加をさせないこと。

- ◎体温が37.0℃以上、あるいは平熱に比べ異常に高い体温等、発熱の疑いのある人。
- ◎咳、頭痛、のど痛、だるさ、下痢、腹痛、味覚異常、嗅覚異常、その他の体調不良のある人。

②感染リスクの高い活動として、キャンプや舎営など宿泊を伴う活動については、日本連盟の指示に従って、基本的には8月末日までは行わないでください。9月以降は、以下の注意事項を遵守して活動してください。ただし、感染状況により、今後方針変更もありますのでご注意ください。

◎テントは一人で宿泊、舎営泊は個室利用で行う。ただし、兄弟、親子等、同居している家族同士での宿泊の場合はこの限りではない。

◎野外炊事は、一人での炊事を基本とする。ただし、新入隊員などの訓練等については、感染防止に十分配慮した形で、できるだけ短時間の指導を心掛ける。

◎活動時はマスクの着用を基本とする。ただし、屋外活動の場合は、感染防止に十分配慮した形で、熱中症対策も含めて、マスクを外しての活動も考慮する。

◎手洗い、うがいの水や石鹸、消毒薬が十分確保できる環境であること。

◎「活動中コロナ対応チェックシート」の内容を十分理解して対策すること。

◎屋内活動では、「ソング」「祝声」「声を発するセレモニー」「発声による集散」「大声での話」等大量の飛沫が発生するような動作は行わないこと。ただし、屋外にて、スカウト同士の間隔を空けるなど感染防止に十分配慮した形で行う場合はこの限りではない。

③各団においては、スカウトの保護者への「新型コロナウイルス感染拡大防止のためのスカウト活動における対応」を説明してください。

◎日本連盟の[スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン ver02](#)

◎秋田県連盟の「新しい生活様式」の徹底による活動の基準 Ver. 2

◎秋田県連盟の「活動事前参加チェックシート」「活動中チェックシート」

◎日本赤十字社[新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～.pdf](#)

◎秋田県 LINE 公式アカウント「秋田県-新型コロナ対策パーソナルサポート」の活用

④隊の備品に次の物品を加え、集会会場の事前消毒等の安全対策をとることを推奨する。

◎手洗い石鹸（薬用タイプが望ましい）

◎手の消毒薬（アルコールほか）

◎接触する場所（ドアノブ、トイレ・物品《テーブルやいす等》）の消毒剤としてのアルコール
あるいは次亜塩素酸ナトリウム液等

◎ふき取りペーパータオル

◎消毒ごみ専用ごみ袋

◎予備のマスク

◎体温計（非接触タイプが望ましいが、脇で検温するタイプの場合は使用の都度アルコール消毒を徹底してください）

⑤感染対策を進めるうえでの備品不足（個人用テントなど）等につきましては、個別に相談に応じますので、県連盟事務局までお知らせください。

⑥隊指導者は、声以外の伝達方法によるプログラムを積極的に取り入れることを推奨します。

（光、音、色、温度、触感、匂い、手話、手旗、モールス信号、文字、図形、アイコンタクト、暗号、手信号（しぐさ）、追跡サイン等を取り入れてのゲームの展開）